

北九州市立二島中学校 学校便り

アドレス

www.kita9.ed.jp/futajima-j

えいしん
「**盈進**」

平成24年 1月27日

学校通信 No15

文責 校長 森園 利徳

場を清め、時を守り、礼を正す生徒！

心を形に 思いを声にできる生徒！

「言うべきを 言わざるもまた 言わざるを

言うも道には かなわざりけり」

「親から子へ 代々語り継がれてきた教訓歌」 齊藤亜加里 きこ書房から

これは松平定信の言葉で、「言うべきことを言わないのも、言うべきでないことを言うのも、人の道にかなっていないことだ」の意味です。 『松平定信 寛政の改革』

さて、言うべきことをきちんと言うことは案外難しいことなのかもしれません。立場や周囲の空気を考えると、言いたいことも我慢してしまうことが多くあります。言ってしまうことは今風に言うと「K・Y」なのでしょう。

しかし、「言いたいこと」と「言うべきこと」とは少し異なると思います。「言いたいこと」は自分の感情任せであるが、「言うべきこと」は言っておくべき必要なことで、感情でなく知性だと考えます。

それと並んで、言っではいけないことがあります。上下関係でも親しい間柄でも、最後の一言は踏みとどまらなければなりません。感情に任せた言葉は、取り消しができないから、言うべきでない言葉には慎重でなければなりません。

ところで最近問題とされるのが、**メールによるトラブルが後をたたないことです**。顔の見えない相手（その時、どんな心の状態か推し量ることができない）に、言っではならないこと「書いてはならないこと」を顔が見えないことをいいことに書いてしまい、本心とは違った方向へ進み、相手を深く傷つけてしまうこととなります。いやなメールを送られた人にとって、言葉はその瞬間消えますが、メールはいつまでも残ります。

そのメールが耐えられない文章であるとすればなおさらのことです。

メールとは使い方を誤ると、一瞬のうちに相手方に誤解や悲しみを与え、またトラブルのもとにもなる機能であることも分かってほしいものです。

（コミュニケーションの一番の良さは、相手の顔を直（じか）に見ながら対話できることです。表情を読み取りながら会話を弾ませることは、言語力をつけることにもなります。もちろん文字で伝えることもコミュニケーションの一つです。しかし最近対話することを不得手（ふえて）とする人が多くなったことが指摘されます。）

1月授業風景から

時の流れは早いもので、1月もあとわずかとなりました。また、この冬最大の寒波が襲来しています。（1月25日現在）

それでも、日が沈むのも少し遅くなってきたように感じます。日一日と確実に春に向かって自然は動いてくれています。玄関前の梅の花も小さく硬いつぼみをつけ始め、シクラメンも鮮やかに咲いています。そんな中で生徒たちは風邪にも負けず元気良く活動しています。活動の様子をお知らせします。



正門横の梅の花(小さなつぼみが見られます)



玄関のシクラメンの花



2年家庭科調理実習ハンバーグ作り



1年数学 立体図形 (展開図作成)



3年数学 真剣に説明を聞いています



2年百人一首 耳を澄ませて目で追うところ 緊張

いよいよ私立高校一般入試へ挑戦

3年生

私立高校推薦入試に続き、いよいよ一般入試が始まります。寒波が居座る予報もだされていますが、まずは寒さ対策とともに風邪の予防に万全を尽くしてください。

次に、本番を落ち着いて迎え最後まであきらめず解答してください。自分にとって難しい問題は、ほかの人にとってもまた難しいものです。勝手にあきらめて気を抜かないことが大切です。

～と掛けてなんと解く その心は? 「なぞかけ」

* 受験と掛けましてお相撲さんの立合いと解く。その心は? 整いました。どちらも時間内が肝心です。
(時間配分に気をつけてください)

戦国武将太田道灌は鷹狩りに出かけた帰り、にわか雨にあう。みずぼらしい農家に飛び込み「雨よけにかぶる蓑(みの=今で言う雨合羽)を貸してほしい」と頼んだ。応対に出た年端も行かない娘は、そっと一厘の山吹の花を差し出してうつむいた。『後拾遺集』(ごしゅういしゅう)に出てくる「七重八重 花は咲けども 山吹の実の(蓑)ひとつだに なきぞかなしき」を引用した掛け言葉です。「お貸ししようと思っても、蓑ひとつない貧しさが悲しい」(蓑)と(実の)を見事に昔の娘さんが掛けています。有名な話です。